



砥部焼の「ティアラ」



「酒蔵カフェ はつゆき」月の宴



お肌がきれいに「カッサ」も



JR四国「伊予灘ものがたり」食器

しよんちゃんのお楽しみ日記 ②⑧  
とべりて展と「月の宴」の巻

去る九月十日から二十七日まで砥部焼伝統産業会館で「とべりて展」つむぐーが開催され、多くのお客様にお越し頂きました。又、オープニングパーティー「月の宴」が二日間に渡って開催され「ふなや」のお料理「とべりて」の器そして、地酒「初雪盃」のコラボ、四月にオープンしたばかりの「酒蔵カフェはつゆき」で満席のお客様さまに砥部の夜を存分に楽しんで頂きました。

さて、皆さんも砥部焼と言えば白磁に呉須そして唐草模様を思い浮かべられると思います。昭和三十年代からの民芸ブームにも乗り、砥部焼は多くのファンをつくって来ました。考えてみればこのスタイルが実に半世紀に渡って砥部焼を支えてきたとも言えるのではないのでしょうか。創業以来砥部焼の作り手はほとんど男性で、女性はお手伝いの域を出ることはありませんでした。そんな中砥部焼にも新しい風が吹き始めました。

女性七人の作家グループ「とべりて」の発足です。今までとは違った女性ならではの砥部焼を創ろうと立ち上がったのです。

今までほとんど和食器であったものを洋食器まで幅を拡げたり、色彩も豊かに華やかな作品も数多く見られるようになりました。又、食器以外に遊び心を取り入れてミキヤンのバッチャやブローチ、お肌のお手入れのカッサ、ティアラ等々新しい分野の作品を次々と発表しています。

中村知事、佐川町長はじめ多くの皆さんの応援を頂いてJR四国の「伊予灘ものがたり」の食器や道後温泉では昼懐石の器等にも採用されました。

愛媛の特産品、宇和島真珠や今治タオルそして四国中央の水引等とコラボすることによって新しい愛媛の顔もつくって欲しいと思います。

皆さん、砥部焼そしてグループ「とべりて」をぜひ応援してください。



日本交通社代表取締役  
中村剛志